

証券コード 3993
2022年12月26日

株主各位

東京都文京区本郷二丁目35番10号
本郷瀬川ビル4F
株式会社PKSHA Technology
代表取締役 上野山 勝也

第10期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2022年12月23日開催の当社第10期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項
1. 第10期(2021年10月1日から2022年9月30日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第10期(2021年10月1日から2022年9月30日まで)計算書類の内容報告の件

本件は、それぞれの内容及び監査結果を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決され、改正会社法が2022年9月1日に施行され株主総会資料の電子提供制度が導入されることに伴い、株主総会参考書類等の内容である情報について電子提供措置をとる旨、及び電子提供措置をとる事項のうち、書面交付を請求した株主に交付する書面に記載する事項の範囲を法務省令で定める範囲に限定することができるようにする旨の規定を新設すると共に、現行定款17条(株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供)の削除を行いました。また、経過措置に関する附則を設けました。

第2号議案 監査等委員でない取締役3名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員でない取締役として、上

野山勝也氏、水谷健彦氏、吉田行宏氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、水谷健彦氏、吉田行宏氏の両氏は社外取締役であります。

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役として、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏の各氏は社外取締役であります。

以上

(参考)

第 10 期定時株主総会 質疑応答要旨（質問数：9 件）

質 問	IPO 時と比較して株価が低迷しているが、足元の株価に対する見方を教えてほしい。
回答者	議長
回 答	企業価値の最大化を目標に日々努力している。株価への施策としては、IR を通じて既存及び潜在的な株主様に対するコミュニケーションの拡充に取り組んでいる。

質 問	11 月に自己株取得を公表しているが、11 月末時点では実施を行っておらず、どのように考えているか教えてほしい。
回答者	議長
回 答	自己株取得は市場環境等を勘案して検討しており、取得状況については、開示基準に従って毎月初に適時に開示を行う。

質 問	グローバルで通用する企業を目指すにあたり、取引先を国内企業に限定せず、グローバルな大手企業との取引も増やすべきではないか。
回答者	議長
回 答	当社が向き合っている市場は国内だけでも 10%超の市場成長余地があり、依然として国内市場でも成長機会は多いと考えている。 グローバルでの業容拡大については数年前から検討しているが、まずは海外売上比率が高く、グローバルでのインフラを保有するような国内企業との連携に取り組んでおり、中長期的にはグローバル企業との直接の取引も検討する。

質 問	新型コロナ感染拡大の影響によりモビリティ事業が低迷したとあるが、足元の事業環境について教えてほしい。
回答者	議長
回 答	当社は AI Research & Solution 及び AI SaaS の 2 事業を行っており、全社ベースではモビリティ事業の減収を相殺できる程に AI SaaS 事業が成長している。AI SaaS 事業に注力することで ROIC 等も改善すると考えており、人材等のリソースも AI SaaS 事業を中心に振り向ける方針である。

質 問	コールセンター向け等のビジネスにおいて、他社との差別化は出来ているか。
回答者	議長
回 答	当社は AI 技術を組み込んだ独自のプロダクトを提供しているが故に、複数領域でシェア No.1 を獲得できている。この根本となっているのは AI Research & Solution 事業内で磨かれたアルゴリズムモジュールであり、ソフトウェアとして様々な企業に提供できている。

質 問	経営陣の報酬を一部株価連動にすべきではないか。
回答者	議長
回 答	中長期的な企業価値に連動するものとして、現在は業績連動の報酬体系を取り入れているが、貴重なご意見として承る。

質 問	事業は順調に拡大している印象ではあるが、株価への対応として IR が不足しているのではないか。
回答者	議長
回 答	引き続き IR はしっかりやっていく方針。PR も含めて対外露出を増やしていく。

質 問	配当による株主還元策について検討してほしい。
回答者	議長
回 答	営業キャッシュ・フローも順調に確保できているので、配当を検討してほしいという意見があることは理解している。 当社としては、現時点では成長投資を加速させることによって中長期的に企業価値を向上させることが、株主様への還元施策として適していると考えている。

質 問	ROA・ROE 等の指標が低い等の課題があり、株価への影響も少なくないと考える。株価は先行指標でもあるので、株価動向を勘案して経営判断を行ってほしい。
回答者	議長
回 答	真摯に受け止めて経営を行っていく。